

【別紙様式3】

再評価実施事業調査書

番号	1	事業名	道路事業		路線又は箇所名等		国道410号 久留里馬来田バイパス		
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	昭和60年度	用地着手年度	昭和60年度	工事着手年度	平成元年度	再評価の理由	再々評価		
				工事終了(認可)年度	平成35年度				
費用便益比 B/C	1.3 (7.7)	総費用	311億円 (30億円)	総便益	412億円 (228億円)	基準年	平成 30年度	供用開始 年度	平成 35年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

国道410号は、館山市から木更津市に至る総延長約114kmの一般国道であり、起点の国道127号から、南房総市、鴨川市、君津市を經由して木更津市の国道16号に至る、南房総地域を縦断する重要な幹線道路である。

久留里馬来田バイパスは、圏央道・木更津東ICにアクセスするとともに、君津市内のJR久留里駅周辺をはじめとした市街地の交通安全性の向上、南房総地域における観光振興に寄与するなど、アクセス性向上を目的とする2車線道路である。

昭和60年度に事業着手し、平成29年度までに全体の77.7%にあたる12.2kmが供用した。

- ・総事業費：197億円
- ・事業延長：L=15.7km
- ・事業期間：昭和60年度～平成35年度

【事業の進捗状況】

	計画	H30末予定	進捗率	H31以降
延長	15.7km	12.2km	77.7%	3.5km
事業費	196.7億円	165.7億円	84.2%	31.0億円
うち用地補償費	47.0億円	47.0億円	100.0%	—
うち工事費	149.7億円	118.7億円	79.3%	31.0億円

全線供用は、平成35年度を想定している。

【社会経済情勢等】

- ・久留里馬来田バイパス計画区間は、緊急輸送道路（1次路線）に指定されている。
- ・久留里馬来田バイパス計画区間における現道の状況
 - ①君津市久留里市場地先の日交通量（H27センサ）は、平日7,138台/日となっている。
 - ②交通事故はJR久留里駅周辺を中心に、残事業区間を含む久留里工区と並行する現道で、毎年約4～9件（H24～H28年）発生している。
 - ③残事業区間の並行現道区間では、屈曲かつ幅員狭小区間があるほか、歩道の未整備区間があるため、歩行者の通行が危険な状況となっている。
- ・南房総地域における平成25年から29年の年間観光客は約3,500万人となっており、増加傾向にあるため、久留里馬来田バイパスの整備により圏央道と連携した南房総地域におけるアクセス性の向上が期待される。

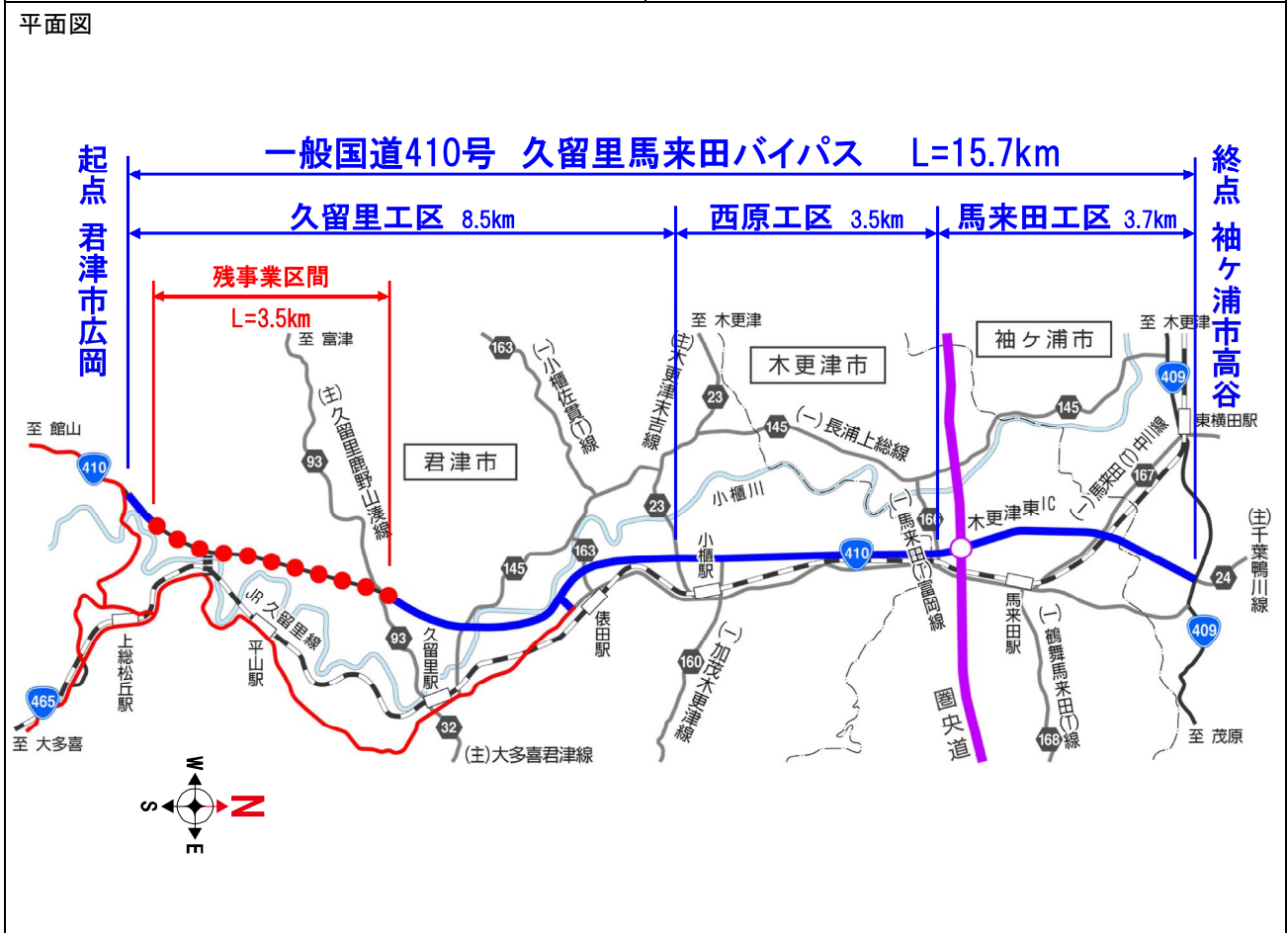
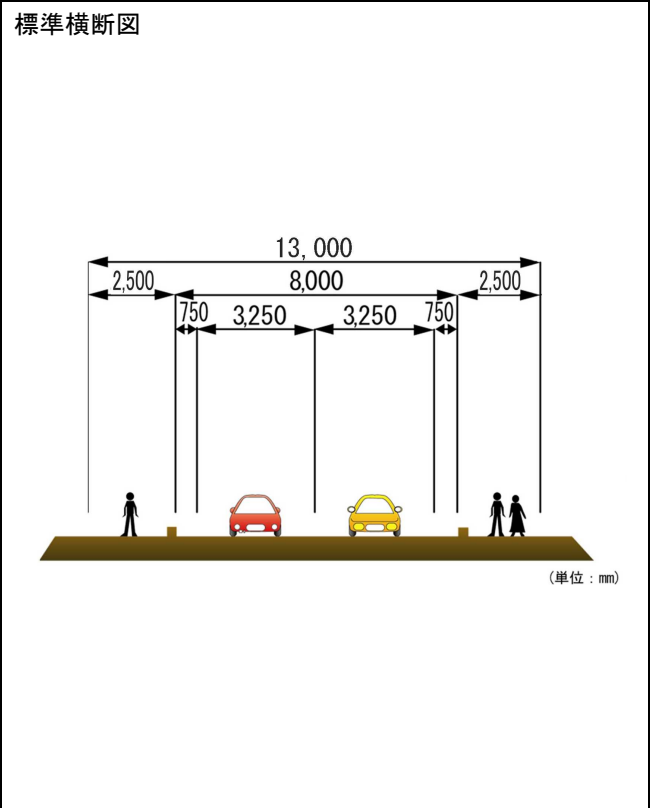
【対応方針（案）】

継続

費用便益比（B/C）は1.3であり、費用対効果が見込まれる。整備効果として、緊急輸送道路ネットワークとしての信頼性の向上、交通の分散による安全性の向上、医療機関までの所要時間の短縮、歩行者と自動車とが分離された安全な道路空間の確保、房総半島南部地域へのアクセス性の向上等が期待される。平成35年度末までの供用目標を公表し、着実に事業を推進していることから、事業を継続し効果の早期発現を目指す。

事業概要図

番号	1	事業名	道路事業	路線又は箇所名等	国道410号 久留里馬來田バイパス
位置図					標準横断面図
平面図					



【別紙様式 5】

再々評価事業に関する調書

番 号	1	事 業 名	道路事業	路線又は箇所名等	国道 410 号 久留里馬来田バイパス
事業化年度	昭和 60 年度	用地着手年度	昭和 60 年度	工事着手年度	平成元年度

【再々評価（H25年度）の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 25 年度	供用開始年度	平成 35 年度	対応方針	継続
B/C	2.6 (4.5)	総費用	253 億円 (36 億円)	総便益	660 億円 (165 億円)

(※上段：全体事業 下段：()：残事業)

再評価時の委員会の意見及び当時の状況
継続することが妥当である。

再評価時の進捗状況及び再評価時想定 of 5 年後の進捗状況

	計 画	進捗状況 (H25)	5 年後の想定進捗状況
全体事業費	173.0 億円	126.5 億円 (73%)	156.7 億円 (90.6%)
用地取得面積	388,339 m ²	347,819 m ² (89.6%)	388,339 m ² (100.0%)
供用面積 (延長)	15.7km	10.5km (67%)	12.2 km (77.7%)

【再々評価（H30年度）の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 30 年度	供用開始年度	平成 35 年度	対応方針	継続
B/C	1.3 (7.7)	総費用	311 億円 (30 億円)	総便益	412 億円 (228 億円)

(※上段：全体事業 下段：()：残事業)

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況 (H30 末予定)
全体事業費	196.7 億円	165.7 億円 (84.2%)
用地取得面積	388,339 m ²	388,339 m ² (100.0%)
供用面積 (延長)	15.7km	12.2km (77.7%)

再評価後の
経過
及び
処理状況

平成 25 年度 再評価（継続が妥当である）
平成 29 年 5 月 久留里工区の残事業区間（3.5km）を除いて供用
（計 12.2km 供用）